

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 リバーエレテック株式会社
 コード番号 6666 URL <http://www.river-ele.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 若尾 富士男
 (氏名) 高保 譲治

TEL 0551-22-1211

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	4,450	14.4	150	—	146	—	129	—
22年3月期第3四半期	3,888	△22.5	△709	—	△695	—	△685	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	17.61	—
22年3月期第3四半期	△93.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	7,326	3,220	44.0	436.84
22年3月期	10,393	5,912	56.4	795.59

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,220百万円 22年3月期 5,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,201	20.1	11	—	19	—	4	—	0.67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	7,492,652株	22年3月期	7,492,652株
---------------------	----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	23年3月期3Q	121,080株	22年3月期	121,058株
-----------	----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	7,371,581株	22年3月期3Q	7,371,594株
------------------	----------	------------	----------	------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	4
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	12
(1) 生産実績	12
(2) 受注状況	12
(3) 販売実績	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策の効果による個人消費の持ち直しや新興国経済の底堅い成長などから緩やかながら景気回復基調が持続しているものの、依然厳しい雇用情勢や欧州の財政不安などまだまだ予断を許さない状況で推移いたしました。

当社が所属する水晶デバイス業界は、スマートフォン市場の急成長やエコポイント効果によるフラットTV等の家電製品が好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,450,649千円（前年同期比14.4%増）、営業利益150,938千円（前年同期は709,163千円の営業損失）、経常利益146,537千円（前年同期は695,149千円の経常損失）、四半期純利益129,795千円（前年同期は685,534千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（水晶製品事業）

水晶製品事業では、HDD等のパソコン関連向け、ゲーム機器向けなどの需要減により無線モジュールが減収となりましたが、自動車向けやスマートフォン向けの受注が好調に推移し増収となりました。

また、高付加価値製品の受注伸長によるプロダクトミックスの改善、全社的なコスト削減と効率化による生産性の改善や前期に行った固定資産の減損処理による減価償却費の減少により収益性が向上しました。

その結果、水晶製品事業の売上高は4,285,725千円（前年同期比16.1%増）となりました。

（その他の電子部品事業）

その他の電子部品事業は、AV機器向けの抵抗器の受注が好調でありましたが、インダクタの事業縮小の影響により当事業の売上高は164,924千円（前年同期比16.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の減少316,922千円、受取手形及び売掛金の減少92,553千円、機械装置及び運搬具の増加208,176千円等により前連結会計年度末から164,440千円減少し、7,326,002千円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金の減少168,023千円、長期借入金の減少346,752千円、短期借入金の増加314,386千円等により前連結会計年度末から197,851千円減少し、4,105,752千円となりました。純資産合計は、利益剰余金の増加129,795千円、評価・換算差額等の減少46,395千円、少数株主持分の減少49,981千円等により、前連結会計年度末から33,411千円増加し3,220,249千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は338,014千円（前年同期は91,809千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益147,777千円、減価償却費344,804千円、仕入債務の減少136,003千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は426,151千円（前年同期は400,348千円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出339,372千円、定期預金の払戻による収入380,408千円、有形固定資産の取得による支出420,727千円、少数株主からの株式の取得による支出47,613千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は153,790千円（前年同期は116,308千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の増加（純額）313,106千円、長期借入金の返済による支出465,618千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間においては、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を上回る結果となりましたが、第4四半期の受注動向等、事業環境が不透明であることから前回予想を据え置くことといたします。現在先行きの情勢を精査中であり、精査の結果、業績予想の修正が必要と判断される場合には、すみやかに公表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動はありません。

②（追加情報）

当社は、平成22年8月1日に退職給付制度の改定を行い、適格退職年金制度から確定給付年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用しております。この改定により退職給付債務が65,551千円増加し、当該増加額は発生時に一括で費用処理しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,321,492	1,638,415
受取手形及び売掛金	1,382,065	1,474,618
商品及び製品	406,277	335,037
仕掛品	226,010	260,068
原材料及び貯蔵品	609,503	514,691
その他	154,151	127,476
貸倒引当金	△2,674	△2,575
流動資産合計	4,096,824	4,347,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	462,322	473,873
機械装置及び運搬具（純額）	1,656,572	1,448,395
工具、器具及び備品（純額）	94,005	88,971
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	5,415	6,626
建設仮勘定	280,907	374,644
有形固定資産合計	2,914,652	2,807,941
無形固定資産		
ソフトウェア	1,627	4,362
その他	17,376	18,800
無形固定資産合計	19,004	23,163
投資その他の資産		
投資有価証券	152,334	180,186
破産更生債権等	67,000	71,250
その他	140,265	127,647
貸倒引当金	△67,000	△71,250
投資その他の資産合計	292,600	307,834
固定資産合計	3,226,257	3,138,939
繰延資産		
開発費	2,919	3,771
繰延資産合計	2,919	3,771
資産合計	7,326,002	7,490,442

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	831,803	999,826
短期借入金	882,237	567,850
1年内返済予定の長期借入金	542,772	661,638
未払法人税等	11,956	9,858
賞与引当金	3,417	—
設備関係支払手形	264,443	182,859
繰延税金負債	744	—
その他	286,111	332,715
流動負債合計	2,823,486	2,754,749
固定負債		
長期借入金	985,820	1,332,572
繰延税金負債	534	812
退職給付引当金	174,352	103,108
役員退職慰労引当金	116,140	107,100
環境対策引当金	1,428	—
その他	3,990	5,262
固定負債合計	1,282,266	1,548,855
負債合計	4,105,752	4,303,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,554,270	1,424,475
自己株式	△17,766	△17,759
株主資本合計	3,564,834	3,435,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△27,994	1,007
為替換算調整勘定	△316,618	△299,225
評価・換算差額等合計	△344,613	△298,217
少数株主持分	28	50,010
純資産合計	3,220,249	3,186,838
負債純資産合計	7,326,002	7,490,442

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	3,888,794	4,450,649
売上原価	3,694,649	3,389,456
売上総利益	194,144	1,061,193
販売費及び一般管理費	903,307	910,254
営業利益又は営業損失 (△)	△709,163	150,938
営業外収益		
受取利息	5,373	1,061
受取配当金	1,302	2,564
助成金収入	23,718	10,447
作業くず売却益	—	14,543
その他	28,663	11,753
営業外収益合計	59,057	40,369
営業外費用		
支払利息	29,696	26,855
為替差損	9,396	13,852
その他	5,950	4,062
営業外費用合計	45,043	44,771
経常利益又は経常損失 (△)	△695,149	146,537
特別利益		
固定資産売却益	706	315
負ののれん発生益	59,996	5,951
特別利益合計	60,702	6,267
特別損失		
固定資産売却損	—	28
固定資産除却損	46,258	1,060
投資有価証券売却損	—	253
環境対策引当金繰入額	—	1,428
退職特別加算金	—	2,255
特別損失合計	46,258	5,027
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△680,704	147,777
法人税、住民税及び事業税	7,805	9,880
法人税等調整額	△587	519
法人税等合計	7,218	10,400
少数株主損益調整前四半期純利益	—	137,377
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△2,388	7,582
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△685,534	129,795

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	1,472,666	1,547,319
売上原価	1,386,361	1,109,663
売上総利益	86,304	437,655
販売費及び一般管理費	304,659	290,496
営業利益又は営業損失(△)	△218,354	147,158
営業外収益		
受取利息	1,003	174
受取配当金	658	685
助成金収入	5,246	3,660
作業くず売却益	—	4,569
その他	6,328	5,740
営業外収益合計	13,236	14,831
営業外費用		
支払利息	9,444	7,812
為替差損	5,900	9,615
その他	△77	1,635
営業外費用合計	15,266	19,063
経常利益又は経常損失(△)	△220,384	142,926
特別利益		
固定資産売却益	△35	315
特別利益合計	△35	315
特別損失		
固定資産売却損	—	28
固定資産除却損	45,670	73
投資有価証券売却損	—	253
退職特別加算金	—	1,129
特別損失合計	45,670	1,484
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△266,090	141,757
法人税、住民税及び事業税	2,582	2,969
法人税等調整額	△128	26
法人税等合計	2,454	2,995
少数株主損益調整前四半期純利益	—	138,761
少数株主利益	2,173	2,251
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△270,718	136,510

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△680,704	147,777
減価償却費	758,717	344,804
貸倒引当金の増減額(△は減少)	412	171
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,946	3,417
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,852	71,244
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△36,060	9,040
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	1,428
受取利息及び受取配当金	△6,675	△3,633
支払利息	29,663	26,710
為替差損益(△は益)	△16,705	81
負ののれん発生益	△59,996	△5,951
有形固定資産売却損益(△は益)	△706	△287
有形固定資産除却損	46,258	1,060
投資有価証券売却損益(△は益)	—	253
売上債権の増減額(△は増加)	△578,852	70,422
たな卸資産の増減額(△は増加)	△103,108	△131,691
仕入債務の増減額(△は減少)	613,069	△136,003
未収入金の増減額(△は増加)	3,106	38,285
未払金の増減額(△は減少)	△3,410	△265
その他	3,809	△71,315
小計	△31,087	365,549
利息及び配当金の受取額	6,646	3,976
利息の支払額	△25,462	△23,756
法人税等の支払額	△12,265	△7,755
法人税等の還付額	153,978	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,809	338,014
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△492,525	△339,372
定期預金の払戻による収入	510,088	380,408
有形固定資産の取得による支出	△321,139	△420,727
有形固定資産の売却による収入	2,122	1,594
投資有価証券の取得による支出	△32,439	△4,805
投資有価証券の売却による収入	—	3,401
子会社株式の取得による支出	△126,251	△47,613
保険積立金の解約による収入	62,613	—
その他	△2,817	964
投資活動によるキャッシュ・フロー	△400,348	△426,151

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	15,523	313,106
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△431,240	△465,618
自己株式の取得による支出	—	△6
リース債務の返済による支出	△591	△1,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,308	△153,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	△665	△10,845
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△425,512	△252,772
現金及び現金同等物の期首残高	1,749,468	1,149,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,323,956	896,645

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	水晶製品 (千円)	抵抗器 (千円)	インダクタ (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,690,366	80,752	81,600	36,075	3,888,794	—	3,888,794
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,690,366	80,752	81,600	36,075	3,888,794	—	3,888,794
営業利益又は営業損失 (△)	△221,432	15,769	4,979	11,760	△188,923	(520,239)	△709,163

(注) 1. 事業区分の方法

事業は製品の系列を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
水晶製品	表面実装型水晶振動子、スルーホール実装型水晶振動子、表面実装型水晶発振器等
抵抗器	炭素皮膜固定抵抗器、不燃性炭素皮膜固定抵抗器等
インダクタ	ラジアルリードインダクタ、チップインダクタ等
その他	開閉器等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,914,189	974,604	3,888,794	—	3,888,794
(2) セグメント間の内部売上高	829,250	92,559	921,810	(921,810)	—
計	3,743,440	1,067,163	4,810,604	(921,810)	3,888,794
営業損失 (△)	△166,967	△11,992	△178,960	(530,203)	△709,163

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…台湾、シンガポール、マレーシア

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	24,238	1,152,281	2,301	1,178,821
II 連結売上高（千円）				3,888,794
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	0.6	29.6	0.1	30.3

- （注） 1．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
- 2．各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
- （1）北米 …米国、カナダ
- （2）アジア…シンガポール、マレーシア、台湾、中国、韓国、香港
- （3）その他…EU、オーストラリア
- 3．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1．報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の種類別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業の種類別を基礎としたセグメントから構成されており、「水晶製品事業」及び「その他の電子部品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「水晶製品事業」は、ATカット水晶振動子、音叉型水晶振動子及び水晶発振器を生産しております。

「その他の電子部品事業」は、炭素皮膜固定抵抗器、不燃性炭素皮膜抵抗器、ラジアルリードインダクタ及びチップインダクタ等を生産しております。

2．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,285,725	164,924	4,450,649	4,450,649
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,285,725	164,924	4,450,649	4,450,649
セグメント利益	133,669	12,868	146,537	146,537

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	146,537
四半期連結損益計算書の経常利益	146,537

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

（1）生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同四半期比（％）
水晶製品	1,553,652	—
その他の電子部品	38,572	—
合計	1,592,224	—

（注） 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

（2）受注状況

当第3四半期連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同四半期比（％）	受注残高（千円）	前年同四半期比（％）
水晶製品	1,124,887	—	591,385	—
その他の電子部品	48,009	—	13,104	—
合計	1,172,897	—	604,489	—

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

（3）販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同四半期比（％）
水晶製品	1,500,417	—
その他の電子部品	46,901	—
合計	1,547,319	—

（注） 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。